

自然科学研究科（博士前期課程）

1. 教育研究上の目的

自然科学研究科（博士前期課程）は、学部教育の上に自然科学の高度な専門的知識を持ち、広い視野から創造的な活動を行う能力を持つ人材を養成する。研究においては、教育及び社会との関わりに最大限配慮しつつ、科学の発展に本質的な形で寄与することを目指す。

2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

自然科学研究科（博士前期課程）では、各専攻分野において、必要な修業年限を満たし、修士論文を含む所定の単位を取得した上で、各々の専攻分野の基礎的な知識と研究手法及び幅広い課題に対して専攻分野の専門家として立ち向かう知識と能力を身につけていると判断した場合に、修士の学位を授与します。なお、この方針に基づく各専攻において修得すべき能力は、各専攻で別に定めます。

3. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

自然科学研究科（博士前期課程）では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力を身につけるため、講義・演習を適切に組み合わせた教育課程を編成・実施します。なお、この方針に基づく各専攻における教育内容、教育方法、教育評価については、各専攻で別に定めます。

4. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

自然科学研究科（博士前期課程）では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、専攻ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

以 上